

# 新・幸福駅は青空 チャペルOK

来月着工

【帯広】帯広の観光名所「幸福駅」で9月から行われる整備の概要が固まった。ガーデンウエディングを行える広場の整備や、花言葉が「幸福」のバラや「深い愛情」のヨシを用いた景観づくりなどで「恋人の聖地」としての魅力を高めていく。幸福駅の再整備事業は、鹿島建設北海道支店が受託した。幸福駅が人気観光地であり続けるための整備テーマは「世界の恋人たちが十勝の大地と出会う場所づくり」。心に残る風景や

思い出を残すことができる設備を整え、再び訪れたいと思わせる施設を目指す。

駅舎西側の幸福ふれあい広場に屋外で結婚式を挙げられる「青空チャペル」を作る他、2両ある車両のうち1両を改装し、結婚式を挙げたカップルの名前などを記したメモリアルプレートを並べる施設にする。

また、ハート形の葉を付けるカツラの木を同駅のシンボルツリーとして植える他、幸福の鐘の支柱にはツルバラをはわせて装飾。「愛の泉」と呼ぶ親水設備では幸福や愛を連想させ、恋人たちが集う場所のイメージを強調する。

駅舎は建て替えて耐震性や強度を高めるが、現駅舎の木材を再利用することで趣は残す。ただ、現駅舎の窓が建築基準法を超える大きさのため、改築後は小さくなる可能性がある。

30日に開かれた「幸福駅再生プロジェクト検討委員会」で鹿島建設の提案内容が了承された。9月に着工し、工期は11月上旬まで。11月16日には新たな幸福駅のオープニングイベントを行う予定だ。

(十勝毎日新聞)